



希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

2017年 第50号

市民相談はお気軽に

公明党控室 047-436-3032

発行 橋本 和子

アンデルセン
公園
北欧フェア



デンマーク王国皇太子妃殿下来園

10月10日(火)多くの小学生たちが出迎える中、メアリー妃が来園しました。



メアリー妃と市長による植樹 が行われました。

日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念
北欧フェア【10月7日(土)～29日(日)】開催



津別町と友好都市を結ぼう！

船橋市・津別町青少年交流事業を視察しました。

この事業は、津別町出身で船橋在住の老人大学1期生の方が、津別の農業後継者のお嫁さん探しの件で船橋ポートライオンズクラブに相談をしたことがきっかけで、津別と船橋の交流が始まったそうです。その後青少年交流事業に発展をし、平成元年に、船橋の小中学生209名が津別町を訪れ、それ以降、隔年で受け入れ、訪問をしています。



民間の会社が進めている福祉事業や生活困窮者支援の状況、船橋市で知り合った方が、津別町に移住してまで何故、津別町で頑張っているのか、各地から来ている「地域おこし協力隊」の方のお話を伺ってきました。



総務省自治行政局がだした、「田舎と都会の『縁』づくり 地域力を高める自治体間交流のすすめ」という過疎地域・都市間における自治体間交流に関する調査報告書を読む限り、津別町と友好都市を結ぶことは、可能だと考えました。

この報告書は、過疎地域において、都市をはじめとする他の地域と交流を進めることは、経済的・社会的・文化的な側面で、大きな効果をもたらすもので、自立促進を図る上で、重要な施策であると位置付けていました。

西船方面では、小松菜を知ってもらおうと、生産者と飲食店が一緒になって「小松菜ハイボールを飲もう貝」(ホンビノスの貝です)を定期的に行なっていますが、津別町に移住した人を中心に「小松菜ハイボールを飲もう貝in津別」が開催されました。

津別町に愛着を持ち続ける人がいることを知り、友好都市を結べないか考えました。

市長⇒市民、町民、お互いの盛り上がりが大切。

庁内の組織改革を！

平成24年第1回定例会において、子どもの出生から未就学児・小中学生・青少年期までの間の施策の連携や、個人への支援の継続が十分に図られるよう、子育て支援に関する窓口を一本化するための整理を行い、教育委員会に子育て支援課を設置した、三条市の取り組みについて、取り上げました。



子どもの貧困対策で、特徴的な取り組みを行っている箕面市を視察しました。

箕面市では、妊娠・出産から中学卒業後の進学支援まで、「子どもに関すること」はすべて教育委員会が担うことにより、各関係機関との連携の幅を拡げ、就学前から、学校教育段階への連続性のある教育を実現するために、児童手当・母子保健・保育を教育委員会の中に入れてありました。このような取り組みを行ったことにより、例えば、貧困家庭等見守りが必要な子どもを支援していくための、情報を集約し、データベース化することで、乳幼児期から18歳までの一貫した見守りができます。

船橋市では、0歳から18歳まで、保健センターと子育て支援部と教育委員会の三者が、関わっていますが、建物の場所が違う事、同じ庁舎内でも、子育て関係は3階、教育委員会は7階と一人の子に対し、様々な場所に行かなければなりません。

教育委員会の中に、子育て関係を入れる、大胆な組織編制を考えるべきと思いますが、如何でしょうか。

本市では、健康福祉局の所管において、福祉部門や母子保健部門と調整を図りながら、教育委員会との連携を密にし、子育て支援を行っている。子どもの貧困対策について、教育委員会の6課を含んだ庁内調整会議を開催し情報共有を行うとともに、今後は、庁内検討会を設置し、各部門と連携を図りながら、取り組んでいく。

平成28年度決算

様々な角度から、平成28年度の事業について伺いました。
住んでみたい街から、住んで良かった街になるよう、これからも市民目線で、主役は市民との思いで、取り組んで参りたいと思います。

災害に強い船橋の構築

土砂災害危険箇所について、避難計画を策定されたのか、避難訓練等を行い、事前防災行動計画、いわゆるタイムラインの導入についてどのような事を行ったのか。

重点箇所12箇所について、情報伝達体制や避難経路の確認を毎年6月に実施。

タイムラインの導入は、29年度、総合防災訓練の中で、高郷小で土砂災害避難訓練を実施した。

安心して暮らせる高齢者支援

市営住宅の供給数の拡大や、現存の市営住宅の大規模改修などの実情は。

市営住宅供給計画に基づき、行田団地の10戸を借り上げた。大規模改修は、長期的な視点で、適切な供給・管理を行うため、二宮第二団地の給水施設改修工事を実施した。

安心・安全な都市基盤整備

河川の総合的な治水対策の状況は。

治水対策では、準用河川木戸川の河道改修を行い整備が完了。流域対策では、高根台中学校に雨水貯留浸透施設を設置した。

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ hashimoto-kazuko.jp

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

